

茨城県坂東市岩井第二小学校 (学校長 石川 直子)

| | | | |
|------|--|----------|-----------------|
| 実施日 | 平成20年1月22日(火) | 時間 | 午後1時45分～午後2時35分 |
| 実施場所 | 体育館 | 対象/人数 | 1～6年生 578名 |
| 担当教諭 | 中田 恵美子 | ファシリテーター | 上本 紘一 |
| 講師 | ワン・チン(内モンゴル) キム・サンミ(韓国・留学生) シリサワット・スパテイダ(タイ) | | |

活動内容

- ・内モンゴル(位置、食べ物、気候、民族舞踊の鑑賞)
- ・韓国(あいさつ、位置、国旗、植物、生活習慣、食べ物、民族衣装、歌、民族舞踊の鑑賞)
- ・タイ(あいさつ、位置、国旗、文字、学校、食べ物、民族舞踊の鑑賞)

児童の感想

・ワールド集会は、毎年楽しみにしています。それは、世界の文化などを知ることができるからです。今年は、中国(内モンゴル)・韓国・タイの踊りや文化を教えてもらいました。同じ一つの星にいるのに文化が全く違うのには驚きました。これからも、このワールド集会を通して、世界のいろいろなことをたくさん知りたいです。また、世界の人たちがいつまでも平和で仲良く暮らせるような星であってほしいと思います。

・ワールド集会では、中国・韓国・タイの文化を学びました。中国では、学校に行くときは、馬を使って行くことを聞いたとき、日本ではそういうことは考えられないことなのでびっくりしました。韓国のお話では、日本でもなじみのある「ピビンバ」などの食べ物が紹介されたので、日本と韓国は昔から関係が深いのかなあと思いました。タイのお話では、フルーツが多いことは知っていましたが、あんなにたくさんの種類があるとは思いませんでした。また、3カ国の踊りも見せていただきました。中国の踊りは、とても穏やかな感じでした。韓国の踊りは、子どもでも踊れるものを見せてくれたので楽しかったです。タイの踊りは、とてもなめらかな感じがしました。見ていてとても楽しかったです。また機会があったらお話を聞きたいです。

先生の感想

・本校では毎年、国際理解教育の一環として、外国の方々との交流を通して、外国に対する興味や関心を高めることを目的としてワールド集会を実施している。今年度は、中国、韓国、タイの3カ

国の方々をお迎えし、あいさつや食べ物、生活習慣、学校の様子など、児童にとって身近であり興味深い話を聞くことができた。パワーポイントの説明は低学年の児童にも分かりやすく、日本との文化の違いに驚いたり、日本の文化と比較したりしながら熱心に話しに耳を傾けていた。また、華やかな民族衣装を身にまとい民族舞踊を踊る姿には魅了され、中国や韓国、タイに対する興味が一層増したようである。

・このような国際交流の機会を教育の一環として提供することは、これからの国際社会に生きていく子どもたちにとって大変重要な役割を果たすのではないかと感じた。

成果と課題

・ワールド集会を実施し、外国の方々と交流することができ異文化に対する理解を深めるよい機会となった。今回の交流会がきっかけとなり「外国へ行ってみよう」「外国のことをもっと知りたい」「外国の人と話してみたい」など国際理解への関心が高まったようだ。今後の課題として、今回の体験で得た外国に対する興味や国際理解への意識の高まりを今後の学習にどのようにつなげていくかが課題である。さらに、来年度のワールド集会では、外国の人とふれあえるような時間を確保し、発達段階に合わせた内容を考えていきたい。

